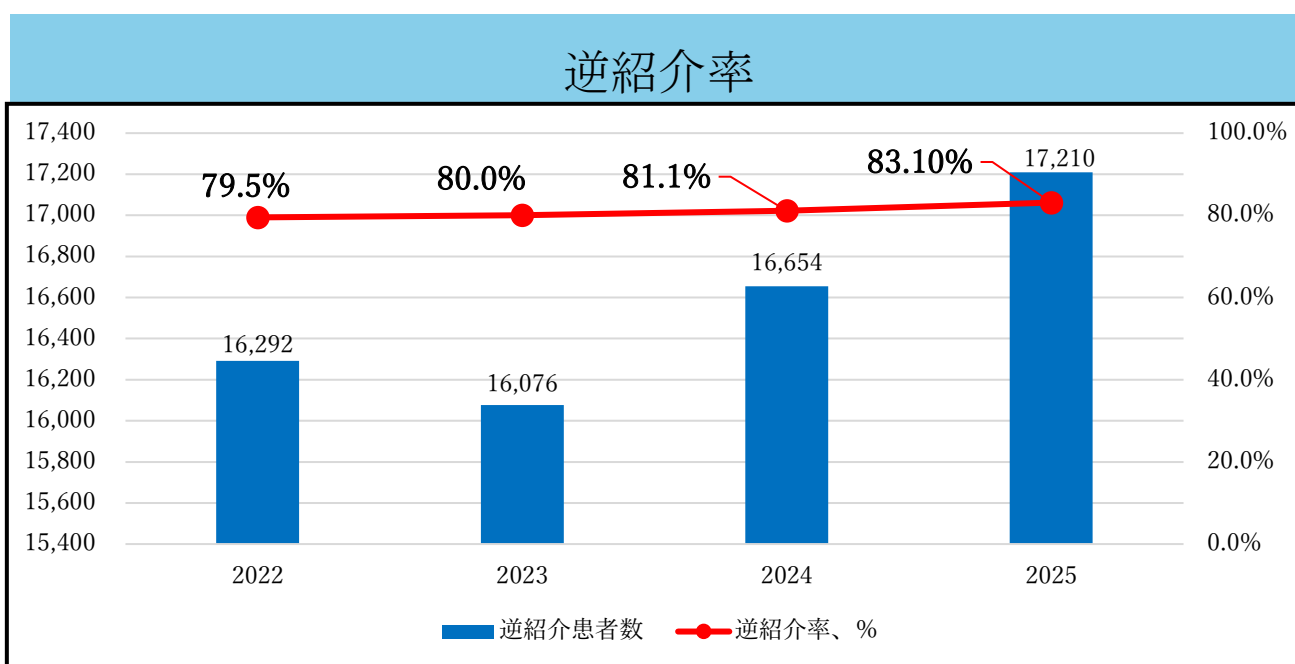
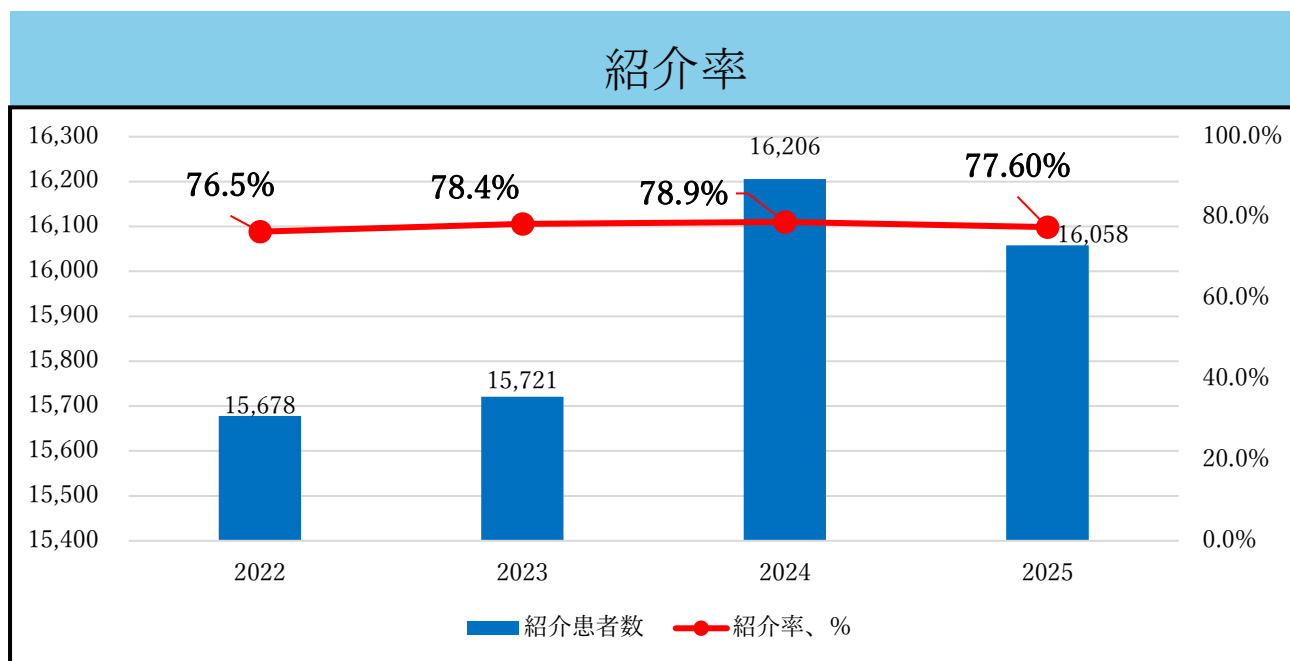


4. 紹介率・逆紹介率



➤ 指標の説明

紹介率と逆紹介率は、医療機関の連携状況を示す指標です。紹介率は、他の医療機関からの紹介で来院した初診患者の割合を示し、逆紹介率は、自院から他の医療機関へ紹介した患者の割合を示します。

➤ 定義

【紹介率】

分子：紹介患者数+救急患者数

分母：初診患者数

【逆紹介率】

分子：逆紹介患者数

分母：初診の患者数+再診の患者数

➤ 評価

当院では、2人主治医制を推進するとともに、地域の医療機関と密接に連携し、効率的な医療の提供に努めております。初診患者数は微減しており、紹介率はやや低下傾向にあります。紹介状などの診療情報をもとに診療を行うことで、より正確かつ効率的な医療が可能となります。

また、当院での診療が一段落した患者さんを地域の医療機関へお戻しする「逆紹介」については件数が増加しており、逆紹介率も全体として上昇傾向にあります。逆紹介率は地域連携の重要な指標であり、この数値の向上は病診連携が適切に機能していることを示しています。

今後も、様々な機能を有する医療機関との連携をさらに密にすることで、急性期病院としての余裕ある診療体制を確保し、「高度医療を必要とする患者さんに速やかに提供する」体制を維持・強化してまいります。